

機械器具(21)内臓機能検査用器具  
一般医療機器 心電計ケーブル及びリード 35562010

BJ-201U 誘導コード  
BJ-202U 誘導コード  
BJ-203U 誘導コード

### 禁忌・禁止

併用医療機器[相互作用の項参照]

- 磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)

### 形状・構造および原理等

本品は、長時間心電図記録器(RAC-2100シリーズ)用の誘導コードです。リード線の本数の違い(誘導数の違い)により、下表の3種類があります。



### 種類

誘導数と適用機種は下表のとおりです。

| 型式      | 誘導 | 全長   | 適用機種              |
|---------|----|------|-------------------|
| BJ-201U | 2  | 1.5m | RAC-2102、RAC-2103 |
| BJ-203U | 3  | 1.5m | RAC-2103          |
| BJ-202U | 12 | 1.5m | RAC-2103          |

### 材質

|           |                  |
|-----------|------------------|
| フック部      | PE樹脂、黄銅(ニッケルメッキ) |
| ケーブル、リード線 | 軟質PVC            |
| 分岐部       | 軟質PVC *          |
| コネクタ部     | 軟質PVC、ABS樹脂      |

### 使用目的、効能または効果

#### 使用目的

患者の心電図信号を心電計(ECG)に伝達する装置です。本品はあるパターンに従って電極を用いて胸部に取り付けます。

### 品目仕様等

|      |              |          |
|------|--------------|----------|
| 耐電圧  | シールドー外装間     | AC1,500V |
|      | フック金属部ーシールド間 | DC50V    |
| 導体抵抗 | コネクタ部ーフック部間  | 10Ω以下    |

### 操作方法または使用方法等

#### 使用方法

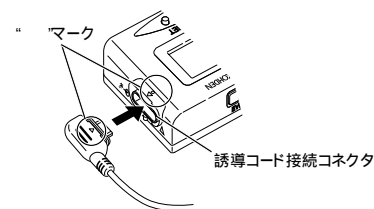
電極に誘導コードを取り付ける・装着する

[注] 線材を強く引っ張ったり曲げたりしないでください。破損およびコードの断線の原因となります。

1. 電極に誘導コードのフックを取り付けます。
2. 電極の粘着面になるべく指が触れないように注意して、ゲルカパーから電極をはがします。
3. 皮膚の前処理を行った装着部位に電極中心部から外側に向かって軽くなでつけ、皮膚に貼り付けます。
4. ホルターバンで誘導コードの上から電極全体を固定します。
  - ホルターバンを使用しない場合  
フックが外れるのを防止するため、サージカルテープでしっかりとめてください。フックが外れると、正しいデータが収集できなくなります。
5. 誘導コードは、被検者が動いても電極が引っ張られないように、余分なたるみを持たせて、コード固定用チューブの部分をサージカルテープで止め、軽くループを作ります。  
[注] 体動などでリード線が引っ張られたり、歩行中リード線が揺れるとアーチファクトの原因になります。
6. 誘導コードを首にまわし、肩のあたりをサージカルテープで止めます。
7. 被検者に衣服を着せ、誘導コードのコネクタが衣服の外に出るようにします。

誘導コードのコネクタを装置に接続する

誘導コードと装置のコネクタのマークをあわせて接続します。



[注] • コネクタの抜き差しは、ねじらずにまっすぐ行ってください。コネクタピンの破損の原因となります。

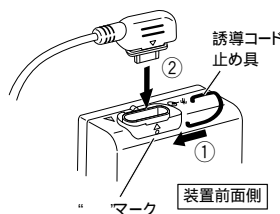
- 誘導コードは必ず、装置の誘導コード接続コネクタへ接続してください。
- 誘導コード接続コネクタへは指定の誘導コード以外接続しないでください。コネクタ部の破損の原因となります。
- 誘導コードの挿入部のパッキンは傷をつけないでください。

( 使用方法は次ページに続きます。 )

## 誘導コード止め具を取り付ける

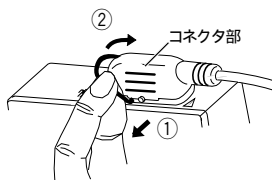
装置付属の誘導コード止め具を取り付けると、コードの抜けを防止できます。

[ 注 ] 誘導コード止め具を取り扱う際は、指などを傷つけないよう気をつけてください。

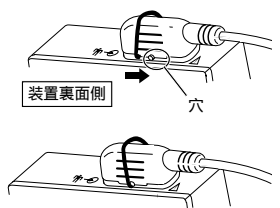


1. 誘導コード止め具の足の長いほうが、装置前面側に来るようにし、“ ”マークの横にある穴に取り付けます。(ここでは短い方の足はまだ固定しないでください。)

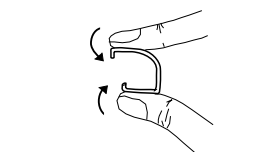
2. 誘導コードを接続します。



3. 誘導コード止め具の短い方の足を持ち上げながらコネクタ部にかぶせます。



4. 誘導コード止め具の足の短い方を、コネクタ部の、装置裏面側にある穴に差し込みます。



頻繁に着脱をすることで誘導コード止め具が広がった場合は、左図のように止め具を内側に少し曲げてください。

## 清掃・消毒・滅菌

本品は定期的に清掃・消毒してください。

### 清 掃

水またはぬるま湯に湿らせたガーゼ、または酒精綿で軽く拭いた後、柔らかい布等で水分を拭き取ります。

### 消 毒

消毒用エタノールを含ませたガーゼなどでよく拭き取り、十分に乾燥させます。

[ 注 ] ● 本誘導コードは滅菌できません。

- コネクタ部は乾拭きのみにしてください。
- ホック部を濡れたままにしないでください。心電図が正しく記録できません。
- シンナー、ベンジン、工業用アルコールなどは使用しないでください。リード線の被覆が溶けるなどして使用できなくなります。

## 交換・廃棄

### 交 換

誘導コードが断線したときは、新しいものに交換してください。

### 廃 棄

使用できなくなった誘導コードは、医療廃棄物として、専門の業者に依頼して廃棄処理してください。

## 使用上の注意

### 重要な基本的注意

- 本品は、心電図をとる目的以外には使用しないでください。  
また、長時間心電図記録器(RAC-2100シリーズ)および日本光電工業製デイスが電極以外の製品を接続して使用しないでください。本品および電極を含めた装着部の安全性は、接続する機器側の性能に依存します。指定外の機器を接続すると、被検者が電撃を受けることがあります。
- 本品は、薬液や水に触れないようにし、濡れた状態では使用しないでください。

### 相互作用(併用禁忌・禁止:併用しないこと)

| 医療機器の名称等          | 臨床症状・措置方法               | 機序・危険因子                       |
|-------------------|-------------------------|-------------------------------|
| 磁気共鳴画像診断装置(MRI装置) | MRI検査を行うときは、被検者から取り外すこと | 誘導起電力により局部的な発熱で被検者が熱傷を負うことがある |

### 相互作用(併用注意:併用に注意すること)

#### 除細動器

- 除細動を行うときは、リード線および電極を患者からはずしてください。[ 除細動器のパドルが直接接触すると、放電エネルギーにより熱傷を生じることがあります。また、RAC-2100シリーズは除細動器に対しての保護がありません。放電エネルギーにより、装置が破損することがあります。]
- 除細動を行うとき周囲の者は、被検者の体の一部および被検者に接続されている装置やコード類の金属部分には触れないでください。[ 放電エネルギーにより電撃を受けます。]

## 貯蔵・保管方法および使用期間等

### 使用環境条件

|      |             |
|------|-------------|
| 温度範囲 | 0 ~ 45      |
| 湿度範囲 | 30 ~ 95%    |
| 気圧範囲 | 70 ~ 106kPa |

### 保存環境条件

|      |             |
|------|-------------|
| 温度範囲 | - 20 ~ 70   |
| 湿度範囲 | 10 ~ 95%    |
| 気圧範囲 | 70 ~ 106kPa |

### 耐用期間

本品は消耗品です。開封時に傷、破損があった場合、材料に変質が見られた場合は、無償交換いたします。

## 包 装

1本単位で梱包

製造販売 **日本光電** 日本光電工業株式会社  
東京都新宿区西落合1-31-4 〒161-8560  
☎(03) 5996-8000(代表) Fax(03) 5996-8091

製造業者 **日本ビニールコード株式会社**